

園だより 12月

令和7年11月28日

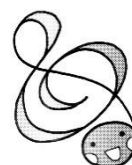
台東区立田原幼稚園

TEL3842-6477

明日もまたやりたい！！

園長 宇塚 華子

11月26日(水)、田原幼稚園に浅草ファミリー(浅草中学校、浅草小学校、台東育英小学校、育英幼稚園、そして地域の私立幼稚園、公立・私立の保育園)の先生方をお迎えし、公開保育を行いました。来校された先生方は、子供たちが生活発表会に向けて取り組む日々の姿を温かく見守ってくださいました。生活発表会に向けての活動からお帰りの会まで、普段の園での姿そのものを見ていただけたことが、子供たちにとっても大きな励みとなりました。



うめ組では、一人一人の思いやペースを丁寧に受けとめながら、「みんなで」歌ったり踊ったりする心地よさを味わう取り組みを見ていただきました。友達の動きを見ながら自然と笑顔がこぼれたり、音を合わせる瞬間に互いを感じる姿には、日々の積み重ねの温かさがにじんでいました。

もも組では、先生や友達と息を合わせ、音がそろって喜びを感じながら合奏に向き合う姿を見ていただきました。音が合った瞬間にふっと笑みが広がる様子は、とても微笑ましいものでした。

ばら組では、思い思いにセリフを言い、表情や動きを自分なりに工夫しながら演じる姿があり、見合った友達同士で「ここがよかったよ。」「こうするともっと伝わるよ。」と伝え合う子供たちの関わりに、先生方も感心されていました。

参観された先生方からは、「子供たちが本当に主体的。」「先生が楽しそうに活動しているから、子供たちも自然と楽しんでいる。」といった嬉しいお声をいただきました。また、分科会に分かれて話し合った内容の発表の際、ある先生が、「活動が終わる時に、子供が「明日もまたやりたい。」とつぶやき、教師が「その気持ちが一番。」と笑顔で返したという姿があった。これこそが、私たち教員が目指す教育の形だと思う。」と言われました。その時、会場にいた多くの先生方が頷いていた姿がとても印象的でした。子供たちが“やってみたい”“もっとやりたい”と思える環境こそ、私たちが大切にしたい保育であると改めて感じた一日でした。

12月5日(金)は、いよいよ生活発表会です。子供たちの生き生きと表現する姿や、恥ずかしいけれどもはにかみながら舞台に立つ姿等をご覧になっていただき、一緒に子供たちの成長を味わう機会になればと思います。

